

全学的事務機構の見直し

去る七月十六日、部局長連絡会議で全学的事務機構の見直しを行うことが了承され、事務機構改革検討委員会(委員長「内藤事務局長」)で検討していたが、十月十一日中間報告を取りまとめた。

中間報告は「中・長期的な本学事務機構の在り方の基本的方針」が骨子となっており、主要テーマは「個々へのサービスから全体に対する合理的なサービスの提供」「学生の多様なニーズに応える教育支援」の二点となっており、部局間のアンバランスやスクラップ&ビルドの観点からの「センター」類などを含めた複数部局等の事務の在り方、組織のスリム化の観点からの「事務長制と事務部長制の将来的選択」、事務組織の効率化の観点からの「事務の分散化、集中化と事務組織の統合」、時代の要請に適切した改善合理化の観点からの「事務の省力化、効率化と事務の外注化」、専門性を有する職員の養成という観点からの「専門性と多様性」、定員削減及び部局間のアンバランスの観点からの「教室系事務の在り方」など八項目の提言が行われている。

新制大学発足以来の事務体制が、数次の定員削減(第八次までで事務系職員五〇六名)、特に今回の第九次定員削減を受け、大きく変わらざるを得ない状況となっている。今後、この中間報告に則って、具体的、個別的な課題の検討が進められていくことになっている。

全国広報紙コンクールで本誌が最優秀賞を受賞

全国の国立大学及び高専が発行している広報紙を対象にした平成八年度の優秀広報紙コンクールで、本学から推薦していた「広大フォーラム」が最優秀賞を受賞した。最優秀賞受賞は、平成五年度、七年度に続き三度目の受賞となった。

広島大学懇話会が発足

広島大学の振興・発展のために、大学の自主性を基礎としつつ、必要に応じて学外の有識者から意見を求め大学の運営に資するため、十一月十二日の部局長連絡会議で行政・教育関係者、経済界、マスメディア関係者、芸術・文化分野、学識経験者、広島大学同窓会関係の六分野からの委員十一名の報告があった。なお十一月二十九日に広島ガーデナパレスで第一回懇話会が開催された。委員は次のとおり。

- | | |
|------------------|-------|
| 財団法人放送大学教育振興会会長 | 井内慶次郎 |
| 詩人 | 井野口慧子 |
| 日本放送協会広島放送局長 | 加藤 広文 |
| 株式会社広島銀行取締役会長 | 岸田 俊輔 |
| 広島県教育委員会教育長 | 木曾 功 |
| 株式会社佐竹製作所代表取締役社長 | 佐竹 覚 |
| 広島大学同窓会連合会会長 | 武田 正弘 |
| 中国経済連合会会長 | 多田 公照 |
| 広島市立大学長 | 田中 隆荘 |
| 広島県高等学校長協会会長 | 古田 博保 |
| 株式会社中国新聞社代表取締役社長 | 山本 治朗 |

平成八年度、附属図書館の大型コレクション

文部省は、国立大学附属図書館の平成八年度の大型コレクションの配分を決めた。全国では人文社会系特別図書購入によるものが二件、外国図書購入費によるものが八件、自然科学系特別図書配分が十六件で、総額一億六千六百万円。

本学では、外国図書購入費として「ソビエト共産党・国家文書(マイクロフィルム版)」が認められた。

広島女高師の記念碑を「除幕」

十一月十二日(火)午後二時から同窓生ら約六十名が集まり、昭和二十年三月に我が国三番目の女高師として創設された広島女高師記念碑の除幕式があった(前号で一部既報)。

碑は恩師後藤光男氏の揮毫によるもので、東千田町の旧大学会館中庭のヒマラヤ杉の木立に「広島文理科大・広島高師」発祥の地碑や原爆追悼碑などとともにひっそりと建立されている。

式では建立への思いや経緯が語られ、校歌斉唱で終わった。愛校心がきらきら光る手作りの除幕式であった。

英会話集のテープを作成

庶務部国際交流課では、昨年発行したテキスト「広島大学職員のための英会話集」の吹き込みテープを作成した。テープを希望する声が多かったため、国際交流アンシエイトのミシェル・ミスズ・チャンさんが吹き込んだもの。

この企画を担当した蔵谷係長は「このテープは、経費等の関係で各部局に一本しか配布

できませんでしたが、貸し出しテープを用意していますので、どんどん申し込んでください」と語っている。

なお、十一月からはミシェルさんかわり、オーストラリアのシドニーからやってきたサリー・ハナさんが勤務しています。

名誉教授の会を開催

十一月五日(火)、東広島キャンパスで名誉教授七十一名が出席し初めての「名誉教授の会」が開催された。

九年度国際研究集会 派遣の募集始まる

平成九年度の国際研究集会派遣研究員の募集が始まっている。開催時期により次のとおり年三回申請ができることになっている。

- ・平成九年四月一日〜七月三十一日開催の国際研究集会：学内締切り 平成八年十二月十日
- ・平成九年八月一日〜十一月三十日開催の国際研究集会：学内締切り 平成九年四月十五日
- ・平成九年十二月一日〜平成十年三月三十一日開催の国際研究集会：学内締切り

平成九年八月十九日 詳細は各部局担当係まで。

女子学生狙いの ひったくり、捕まる

十一月十五日夜、東広島キャンパス近くで女子学生が、車の二人組にバッグを奪われる事件が二件起き、張り込み中の西条署員が竹原市の会社員ら二名を窃盗の疑いで逮捕した。同様の手口で十月下旬から、女子学生が七人被害に遭っており、西条署ではこの二人組の犯行とみて追及している。(十一月十六日中国新聞夕刊から。)